

# 会 議 録

## 1 会議名

第2回諏訪区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ○議題（公開）

（1）「諏訪区の未来を考える懇談会」の今後のあり方について

（2）その他

## 3 開催日時

平成26年6月18日（水） 午後6時30分から午後8時まで

## 4 開催場所

公民館諏訪分館 集会室

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：秋田ひろ美、池田義二、猪俣一夫、内山松男、金森光則、川上文雄、川上義人、滝澤隆行、寺田晴夫、古川正美、星野一巳、松縄節子
- ・事務局：中部まちづくりセンター 北島センター長、恩田係長、小林主事

## 8 発言の内容

### 1 開 会

#### 【恩田係長】

定刻になりましたので、平成26年度第2回諏訪区地域協議会を開催します。本日の出席人員は現時点で11名です。川上副会長は少し遅れてご出席くださる予定です。上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立することを報告します。

### 2 会長挨拶

**【恩田係長】**

はじめに、古川会長からご挨拶をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

**【古川会長】**

皆さんご苦労様です。先回の会議では地域活動支援事業のヒアリング、それから採択決定までの協議を行っていただきました。おかげさまで各事業が順調に動きはじめていると聞いています。

今日は、今まで2回開催しました懇談会を振り返って、今後どのように展開していったらよいかを皆さんと協議していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

**【恩田係長】**

ありがとうございました。それでは、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により会長から議長を務めていただきます。よろしくお願いいたします。

**【古川会長】**

それでは、以降の議事進行を務めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。終了時間は、概ね8時頃を予定しています。スムーズな進行にご協力をお願いします。本日の会議録の確認者は名簿順により滝澤委員にお願いします。よろしくお願いいたします。

### 3 議 題

(1)「諏訪の未来を考える懇談会」のあり方について

**【古川会長】**

それでは、本日の議題に入ります。

3議題(1)「諏訪の未来を考える懇談会」の今のあり方についてです。

はじめに、事務局から説明をお願いします。

**【恩田係長】**

この議題では事前送付資料のNo.1をご覧ください協議いただきますが、本題に入る前に、本日の議題とも関連してきますので、地域活動支援事業で採択決定されました「諏訪の里づくり活動事業」のホームページ開設について、実際にご準備を進めていただいている皆さんからお越しいただき、ご説明いただく機会を設けさせていただきました。

先日のヒアリングでは十分な時間を割くことができず、皆さんから具体的なイメージを持っていただくことが難しかったのではなかろうかと考えております。そこで、改めて、準備の進捗状況も含めてご説明いただき、質疑応答等で皆様の不明な点等を解消していただければというふうに考えております。

後の本題がありますので、この件については、概ね7時頃までを目処に考えております。よろしくお願ひしたいと思ひます。

#### 【古川会長】

それでは、今年度の採択事業にあるホームページの開設のことについて、詳しく説明いただき、今後の諏訪地区の活性化のために、どのように役立てていけるか意見を交わしたいと思ひます。

それでは、ご説明をお願いします。

#### 【提案者】

このたびは採択いただきまして、ありがとうございました。

私どもの考え方としては「諏訪の活性化の為」ということを大前提で動いております。この諏訪分館に畳1畳半くらいのテーブルの上に、ノートパソコンを置いて、様々なことを検索いただくなど、皆さんから利用いただければと思ひます。それに合わせて、ホームページを独自に作って、諏訪の良さを発信していきたいと考えています。

現在7月の末日のスタートに向けて頑張っているところです。今6人でやっていますが、我々は形を作っているだけです。それと、皆さん各団体の方は、ただ生まれてくるのを待っているというのでは困るのです。他の方々は、お湯を沸かしたり、毛布を出したりというお手伝いをしていかないと、良い子が生まれないということをご理解いただきたいと思います。

なかなかお話ししきれない部分もありますので、皆さんから疑問な点をQ&A方式で、ご説明させていただきたいと思ひます。ご不明な点がありましたらご質問ください。

#### 【古川会長】

ありがとうございました。ホームページを開設して、我々が調べて載せ、いろいろな情報が発信できるということです。

諏訪地区の一番の問題は、子供が少なくて人口がどんどん減ってきているということです。昨年から地域協議会で話をしてきました。ホームページを開設し、諏訪を皆

さんに見てもらい、「こういう所に住んでみたいな」という人が出てきて、何人かが入ってくれるキッカケになってくれたらと思います。他のことにもどんどん役立つものと思います。今回、皆さんがやろうと言ってくださったことは、本当にタイムリーと思いますし、何とか頑張ってもらいたいなと思っています。

こんな内容を載せてみたいというような話がありましたらお話しいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

#### 【提案者】

5月31日に一回目のスタッフ顔合わせ、6月14日に二回目をやりました。そして、ホームページのサンプルを作っております（サンプルを見せながら）。

これはサンプルですが、「越後高田諏訪の里」という表題にしています。「トップページ」に、「お知らせ」、「ギャラリー」などがあります。老若男女に見てもらうために、なるべくわかりやすい言葉を使っていきたいと思っています。皆さんの英知を借りながら、ホームページを作りたいと思っています。

「芳澤記念館」もありますし、今の構想の中では、諏訪の春夏秋冬をアップロードしたいと思っています。14日の打合せでもいろいろな意見が出まして、今現在、業者に原型を作ってもらっている最中です。

ある程度、我々がチョイスして出したものを、「里づくり協議会」の11町内において、決まったもので載せたいと考えています。

皆さんが見やすいようなスッキリしたものにしたいと思ってスタッフで考えています。

#### 【古川会長】

皆さんの方で聞いてみたいというようなことがありましたら、質問してもらいたいと思います。

#### 【寺田委員】

諏訪分館が事務所になるのですか。常時ここにいないってことですか。

#### 【小玉さん】

我々はおりません。分館の職員の方がいらっしゃる時に限りご利用いただけます。

#### 【提案者】

パソコンを置いておくのと、ホームページとは別な話です。ホームページそのものはここにはありません。パソコンは皆さんが自由に使ってもらえるように置くだけで

す。通常の更新も各自で自宅でやりますので、事務所はありません。

**【古川会長】**

パソコンをもっていない人はここで見れるということですね。

**【提案者】**

パソコンは無くてもよいのです。公民館職員の駐在率が高いと思うので、通りかかったついでに、気楽に見れると思います。

**【古川会長】**

ホームページで発信する内容はまだそんなに詰めてないということでしょうか。具体的に進めている内容はありますか。

**【提案者】**

一年間の行事を載せます。また、美しい諏訪の風景の写真、小学校の子供たちの様子、諏訪の各団体の紹介や、こんな催しがありますという連絡の場所を作ろうと考えています。

今日は資料を持ってきていないのですが、「かみえちご山里ファン倶楽部」や「桑取谷を盛り上げる会」のホームページを参考にしました。地域活性化のためのホームページなのですが、それを作った業者にお問い合わせしようかと思っています。是非ご自宅で見ただければと思います。

**【古川会長】**

そうであれば、期待できそうですね。

**【提案者】**

そうですね。発信の仕方は上手かと思っています。

**【古川会長】**

検索した人が諏訪に来てみたいというようになってくれればよいなと思います。

他に質問ありませんか。我々の疑問や分からないことを聞いて、少しでもホームページ作成に役立ててもらえればと思います。

**【星野委員】**

6人で推進されていると先ほど説明いただいたのですが、諏訪にはいろいろな組織、活動団体、趣味の会や老人会などがありますので、いかに巻き込んで、その人達の情報を取り入れて発信していくことによって、ホームページが活性化してくるのではないかなと思っています。

この一年で終わるのではなく、今後もずっと続けて行かなければ効果は出ないと思うのです。そういう意味で、素案ができた時点でいろいろな人達に声をかけて、是非説明会を開いていただきたい。「こういうふうにやりたいんだ」というような事を説明して、意見も聞きながらホームページを充実したものにさせていただけたらと思います。いかに多くの人を巻き込むかが今後の課題と思いますので提案させていただきました。

**【提案者】**

ありがとうございます。諏訪の里づくり協議会の方々とお話ししながらすり合わせをさせていただきます。星野委員がおっしゃったように、なるべくアンテナを張って発信していければと思いますので、その節はご協力のほどをよろしくお願いします。

**【古川会長】**

予定していた7時になりましたので、そろそろ終わりにしたいと思いますが、皆さん他にご意見ありますか。

これで終わりとしてよろしいですか。

(一同よいとの反応)

ご説明いただいた皆さん、どうもありがとうございました。我々は審査しただけではありません。できることは全面的に協力していきたいと思っていますので、今後もよろしく願いいたします。

—提案者退席—

**【古川会長】**

それでは、資料について事務局から説明をお願いします。

**【恩田係長】**

— 資料No. 1、参考資料No. 1・2・3に基づき説明—

**【古川会長】**

今ほどの説明、または資料を見て、ご発言をお願いしたいと思います。説明にもありましたが、第1回、第2回の懇談会を踏まえて、ご意見をいただきたいと思います。どうでしょうか。

(発言なし)

私が思ったこととしては、資料の川口のアンケートは、世帯に対して1部ではなく各世帯に3部ずつ配布すると書いてあるところです。確かに3人いれば、3人の考え方があっていいと思いますから、こういうような方法はよいなと思いました。

今まで2回行った懇談会については、あれはあれで成果があったものと思いますが、もっと広く皆から考えていただく、諏訪地区を何とかしようという気持ち、そういうことからスタートするということを考えますと、やはりアンケートという方法がよいのかなと思います。

皆様のご意見もいただきたいと思います。川上副会長いかがでしょうか。

**【川上副会長】**

これまでの2回の懇談会で、ご意見をいただいたのはありがたいのですが、偏ったものになってしまうかもしれません。アンケートで挙がってくるものが、全て正しいかは分かりませんが、抽出ではなく全ての住民にお願いするというのがよいのかなと、川口の資料を見て思いました。

**【松縄委員】**

「市民の声アンケート」で、諏訪区の13人から回答があった。これは、いつしたのですか。

**【恩田係長】**

今年1月に実施し、18歳以上の5,000人に依頼しています。市からアンケートにご協力をお願いしますというお手紙を無作為に抽出して送り、約2,300人から協力いただいたものです。

**【松縄委員】**

それで、13人なのね。

**【恩田係長】**

人口割合から考えますと、20数人にお願いして、13人からご回答いただいたものです。

**【松縄委員】**

川口地域のアンケートのように、一家でも考え方が違うから、1世帯から1人以上のアンケート採ったほうがよいですね。

**【古川会長】**

今後の活性化に向けて、次にどんなことを進めていったらよいかということだと思うのです。若い人を中心に、諏訪を活性化するためにこういう事をやるよというような人から声が上がれば…。NPOになるかは分かりませんが「諏訪の活性化を考える会」のような組織ができて進んでいければと思います。

#### 【星野委員】

2回やったわけなのですが、だんだん尻つぼみ的な、マンネリ化的な、今後続けてもそういう可能性もありますから、ここに書いてある方法もよいのじゃないかなと思います。是非今後、アンケートを進めていただければと思います。

#### 【寺田委員】

私も星野委員の意見と全く同じです。このようなアンケートを採られた方がよいのじゃないかと思います。

一つ疑問に思うのですが、川口も上越も、アンケートの回答で「どちらとも言えない」というのがある。どうも私は腑に落ちないというか、面白くないんだよね。これを見ると「どちらともいえない」が全般的に多いんだよね。70パーセントから80パーセント近くが、どの項目を見ても「どちらともいえない」。アンケートやるときは「どちらともいえない」はない方がよいと思うね。自分の意見を「どちらとも言えない」っておかしいんじゃないかと思うのだけど、皆さんどう思いますか。

#### 【松縄委員】

これじゃあ、アンケートにならないもんね。

#### 【滝澤委員】

アンケートに関しては、私が提案させてもらった部分もあるのですが、アンケートの結果をホームページで閲覧できるようにするのもよいかと思います。ホームページを作ってくれている人たちにも担って欲しいなと思っています。自分もメンバーに入っているのですが、残念ながら都合が悪くて、メールだけもらっているだけですから、ハッキリとしたことは言えないのですが…。

今は、ネット社会で何でもできるようになってきました。若い人達はある程度使えるのですが、年配の人やコンピューターに詳しくない人達からいかに見ってもらうか、使ってもらうかという所をまず工夫していかなければいけないと考えています。

諏訪のことをまずは知る。諏訪のことを発信できるようになっていけるとと思います。今は、ほとんどスマホ、昔ながらの携帯でもインターネットが見れる、情報を入れられる、出せるというようになっていますから、それを活用して行きたい。それがスタートになってくるかと思います。

#### 【川上委員】

展開の方策ですが、案1、2は実際このとおりだと思います。今後さらに少なくなる



かも知れませんが、アンケートの方法もよいかと思います。

#### 【金森委員】

アンケートがよいのではないかと思います。私達の業界でも、今回アンケートを採ってます。それで、私と女房はいくつも年は離れていないのですが、やっぱり考え方が違います。ですから、若い年代の人たち、小学生や幼稚園の子たちにも、アンケートに答えてもらった方がよいかと思います。

どうしても、年配の考えと若い人たちの考えはまるっきりね…。私と女房でも違うものですから、そういうふうにしたらどうかなと思います。

#### 【内山委員】

私も基本的にはアンケートに賛成です。個人個人の意識が高まっていないのじゃないかなと思っています。うちの町内でも1人しか出てこなかったです。他人事っていうような気がします。もっとプッシュしなくちゃいけないんじゃないかな。地域協議委員だけじゃなく、町内会長も交えてでもよいから、幅広く強いプッシュをやって、アンケートを採ったほうが、より諏訪の危機意識っていうのが出てくるんじゃないかなというふうに思います。

このアンケートで、子供を育てやすいという項目で諏訪地区あまりよくない。市全体から比べて何が悪いのか、アンケートに答えた人はどう思って答えたのか分かりませんが、その辺りも何か感じたほうがよいのかなと思います。それと、ボランティアは諏訪地区は活発にやっている。

諏訪区の何がよいのか、そのよいところを、インターネットなどでPRしていくということになるのかな。人を増やすためには、住む土地、空き地とか売家、誰か個人的に情報を載せてよってことになれば、そういうのを載せたほうが、諏訪地区の良い所をみて、住みたいなというふうにも感じるのじゃないのかな。

基本的には、ここに集まって皆の前で喋るよりもアンケートのほうが答えやすいだろうと感じているところです。

#### 【猪俣委員】

私も基本的にはアンケートが一番よいとは思いますが、先ほども話ができましたが、「どちらともいえない」が多すぎるんだよね。そういう結果が出ると思います。申し訳ないけど、若年層を中心とした懇談会をやったり継続していったほうがよいのではないかと思いますけどね。アンケートだと結局、そういうところにいっちゃうと思

ますね。

#### 【池田委員】

私も町内の会合に行きますと、30代の若い中学生や小学生のお父さんお母さん、なかなかそういうのに無関心なんですよね。学校が無くなりそうだということになれば、盛り上がるというか真剣に考えるのですけれど、ただ会議に出てくれと言うと、他人事のようなことを言います。

やっぱり、アンケートを出してみればよいですね。資料のアンケートを見ると、住みやすいと答えている諏訪の人が結構多いですね。どこが住みやすいのでしょうか、この諏訪地区は…。

#### 【秋田委員】

私は案2の若い人の懇談会で聞いてみたいと思います。先日の懇談会にお越しただいたご夫婦のような積極的な人は少ないとは思いますが、あの方を中心に何組か連れて来ていただいて、本音のトークを聞いてみたいと思うんですよ。

案3のアンケートも、出てこれない人もいますから、よいとは思いますが、考えると先ほどの「どちらともいえない」の、この意味が、私は分かるんです。

危機感は、若い人はないと思います。私もこういう会に参加させてもらって初めてそう感じるようになったのですから…。ですから、直に聞いてみたいと思います。

#### 【古川会長】

この会議に参加して初めて、「ああ、こうなんだね」と分かることが多いと思うのですよ。確かに無関心なのかなと思えるところがあると思います。

川口のように、1世帯で3部という意味を考えると、若い子供たちを中心とした世代、中間の世代、ある程度年をいった人たちの3世代の意見を聞くという意味だと私は思っています。

諏訪地区は人数分やってもよいかもしれません。市のアンケートの諏訪地区の13人の意見というのは、ある程度集約されているとは思いますが。上越市全体の意見とそれほど変わらないかと思っています。山間地に住んでいる人と、旧上越市に住んでいる人との差はあるとは思いますが、我々と旧上越市に住んでいる人たちの意見はそんなに違ってこないのじゃないかなと予想します。それでもやっぱり、真の意見をまとめることが大事な事かなと思います。取り留めのない話になってしまいましたが、これから、1つ1つコツコツとやっていくことが必要なのだろうなと思います。

それで、先ほど滝澤委員が言われたとおり、ホームページを作成する人たちが幹になってくれるような形になれば私もよいなと思います。

このホームページを作る事が目的じゃなく、諏訪地区の住民ニーズを把握して、次に活性化に向けてこういう事をやっていこうというような話も出ていますか。

**【滝澤委員】**

情報発信と、情報吸収のためのホームページですから、目的はそこになります。諏訪の活性化、少子高齢の問題をどうしていこうかということになります。

**【古川会長】**

そんなに立派なものじゃなくてもよいのだけど、会の立ち上げ、説明会のようなものを合わせてやってもらうとよいですね。そのような形で進んで行ければ、ありがたいなと思います。

**【滝澤委員】**

多くの方が使いやすくするために、皆さんにも知ってもらわないといけないですね。そういう場を作らなくちゃいけないなと思っています。

**【古川会長】**

町内会長さんにも協力してもらって、意見をまとめてもよいし、里づくりの各種団体の意見をまとめたりしていければ、地区の魅力を集約できるかもしれませんね。全面的に協力できるのかなと思うのです。

**【滝澤委員】**

皆さんから情報をいただく場が必要になってくると思っています。私はインターネットにそれほど詳しくはないのですが、皆さんの情報をどれだけ集め、発信していけるかによって、可能性がどんどん大きくなると思います。

**【古川会長】**

こういう新事業は作ってもらって形になると終わったような気持ちになってしまう部分もあると思うのだけど、実際はそこがスタートなんですね。それから地域の皆さんにどれだけ協力してもらって、中身を充実していければ素晴らしいものになると思うのです。

私も会社でホームページがあるのだけれど、1回やると終わったような気になっちゃうんですよ。日々更新なんて、なかなかできない。それが現実なんですよ。分館のパソコンは見るだけのものであって、皆さんが自宅で作ったものを載せることがで

きると思うのです。どういう形で運営するかは、皆さんの手腕に期待するところです。そして、我々がお手伝いできる場所というのは、また皆さんが寄ってもらった中で、出し合っていく。これは一つの活性化の起爆剤というか、スタートになってくれれば本当によい事業になっていくと思います。

**【滝澤委員】**

はい。

**【古川会長】**

是非、どんどん意見出してもらって、集めてもらって、お願いしたいと思います。

皆さん、他に意見ありませんでしょうか。

さっきも申しましたが、上越市の全体の意見と諏訪地区の意見は、それほど大きくは違わないんじゃないかなとは私は思いますが、アンケートをやることによって諏訪の老若男女の人たちが「おおっ、諏訪でこんなことをやっている仲間がいるんだ」ということを分かってもらったり、それを応援する気持ちになってもらえれば、他の地域とは大分違ってくると思うのです。やっていない地域とは全然違うんです。ですから、こういう取組みを行ってくれるスタッフが集まったということは、素晴らしいことだなと思いますし、その取組みを見た他の若い人たちが「この内容で話し合ってみようよ」ということになってくるかもしれない。ホームページでアンケートの結果を見て、私も参加したいということで、来てくれるかもしれない。今の状況で若い人たちを集めても、出席者が減っちゃうのかなという感じがするので、若い人の意見も当然大事ですが、タイミングをみてやってもらったらどうかなと思います。

若い人たちを集めるための協力はもちろんしますが、活性化に取り組む新しい会の人たちが中心になって、我々も参加するというほうがよい形になるのかなと思います。

**【内山委員】**

私の集落に新しい人が入ってきたのですが、先日の懇談会に「私達も出てみたかった」と言っていました。お愛想かもしれないけど…。

**【古川会長】**

内山委員のご町内でお婆ちゃんが1人で住んでいたのですが、亡くなって空き家になったんです。そこで、「誰か入ってくれる人いませんか」ということで、色々と声かけされたり、不動産さんも入ったりして、若い夫婦、2歳の子供さん1人。懇談会でも話題になりましたが、若い夫婦が毎年増えていってくれたらと思います。こういう

話をホームページで発信していけば、次に入ってくる人が出てくるかもしれない。その方からもアンケートに是非加わってもらって、感想などをインタビューのような形で発信してもよいかもしれないですね。

今回は東原でよい事例を作っていたいただいたなと思います。本当にありがたいなと思っています。

**【内山委員】**

諏訪保育園では未満児も受入れしているということも理由だったようです。

**【滝澤委員】**

諏訪に住んでいなくても、未満児を受け入れしているから、入れている人もいますよね。これをきっかけに住んでくださればよいですよ。

**【古川会長】**

働きたいけど子供を預ける所が無いという人が上越市でもいっぱいいるようです。そういう所が諏訪にはある、町からも大して離れていない、車で10分も走れば職場にもいけるということが広まれば、ここの保育園に入れたい人がいるかもしれないですね。

**【松縄委員】**

3歳になると戻っちゃうんだよね。自分の地域の保育園にね。孫と一緒に子は、三和や戸野目、それから小猿屋から来ているけど、3歳になったらさ、小猿屋や戸野目保育園に行っちゃったりしているようです。

**【古川会長】**

でも今回、諏訪に入ってもらった事例もあることだから、何らかの形で良い情報として伝わってくれば良いなと思いますよ。

**【松縄委員】**

私は今、新井の方に仕事行ってるんだけど、木の丸太で作ったブランコとかが置いてある家があって「凄く可愛ブランコがあるね」って話したら、「あー、あそこは空き家だったところに福島の人が買って入ったんだよ」という話でした。

**【古川会長】**

入ってみたい人から見に来てもらったときに、いろいろと案内できれば、入りやすい環境にもなると思います。近所の人シラーとしていると空いてても入りにくいかもしれないけれど、地域の人が「おっ、来たか、良い所やろ、見ていきな」そうい

うふうに声を掛けられるような地域であれば、もっとよいよね。

ホームページやアンケートは一つのきっかけで、こういう話を皆に広めてもらって、「空き家に何とか入ってもらわなきゃ」というような気持ちになってもらえれば、毎年1夫婦くらいは可能かもしれない。それができれば凄いことですよね。

少しでもそういう形で進んでいってくればよいかなと思っていますので皆さんからもご協力をお願いします。

他にご意見がなければ、この辺で終わりにしましょうか。事務局から何かありますか。

#### 【恩田係長】

本日は今後の展開を決定するまでには至りませんでした。これまで、第1回懇談会の開催、第2回懇談会の開催と着々と前に進んできましたから、若干の足踏み、こういった振り返りの機会があってもよろしいのかなと思います。

アンケートについては、諏訪のことを多くの方から知ってもらい、諏訪のことを考える非常に良いきっかけになるものと思いますが、どういう項目で、どういう体制で行うかといったアンケートの設計には大変な労力が必要ですから、それなりの覚悟がないと進んでいけないというように思います。

参考資料でお渡しした川口の場合、アンケートの設計にあたって、地域の各集落のキーマンから集まっていたいただいて、4回に渡るワークショップを実施されたそうです。先ほど、「上越市全体と諏訪と大して変わらないじゃないか」というご発言もありましたが、このアンケートの中には、移住、定住策ということについては殆ど触れられていないのです。ですから、そういう項目をアンケートに設定するというのもあろうかと思います。アンケートの実施、今後の展開については次回会議以降で継続検討いただく形になろうかと思います。

また、もし、皆さまが希望されるのでありましたら、私から川口の団体さんに視察をお願いすることも可能でございます。中越地震から大変な苦労を重ねて、活動を継続されている方々から実際にお話を伺うというのも今後の展開を考えるエッセンスにはなろうかというように思います。

次回会議の日程については、行政改革の取り組みについて、7月22日以降であれば可能でございます。また、会議の日程設定に合わせて、もし視察についてご希望されるようであれば、視察の候補日もお決めいただけると助かります。先方の団

体さんは、10月になりますと10周年メモリアルということで、かなり忙しくなるそうです。ですから、視察されたいということでありましたら、8月か9月が適当かなと思っております。

#### 4 その他

##### 【古川会長】

7月22日以降であれば、市の行政改革推進課から説明が受けられるということで、次回の会議を22日以降にしたらどうかと思うのですが、いかがでしょうか。

— 日程調整 —

##### 【古川会長】

次回は7月23日（水）、午後6時30分から、公民館諏訪分館で行います。

それと、先ほど、川口に研修という話がありましたが、皆さんどうでしょうか。NPO組織になっているということです。こういうアンケートを作った経緯、今まで苦労されてきたお話しを実際にお聞きできればよいですね。視察研修は1日コースになりますね。

##### 【恩田係長】

片道100キロ近くありますので、一日コースになります。皆さんが川口に行ってお話を聞きたいということであれば、候補日をお決めいただいて、次回会議までにご案内できるかと思います。

##### 【古川会長】

我々の目的としている内容と近いことをやっていらっしゃることなので、皆さんのご協力をいただければ是非行きたいと思うのですが、予定することによろしいでしょうか。

（よしの声）

それでは、川口へ視察研修を行うということでお願いします。

— 候補日決定 —

##### 【古川会長】

それでは、8月22日（金）、8月27日（水）、8月28日（木）を候補日とします。

##### 【恩田係長】

承知しました。先方と調整させていただきますので、よろしくお願いいたします。

## 5 閉 会

### 【古川会長】

以上をもちまして本日の会議を終了します。長時間にわたり、皆さん大変ありがとうございました。

## 9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料(参考資料 No. 2は、著作権の関係上、ホームページに掲載していません。)もあわせてご覧ください。